いわき民報

平市田町四八　電三八一番
編輯兼發行人　千葉寛巳
印刷人　同
發刊　日刊　但月曜を除く
定價一月四十円
一部一円五十錢
發行所
いわき民報社

鈴木遞信政務次官來平

本省首腦部と技術面を隨え

仙臺遞信局幹部連も同時に

平放送局昇格視察

平放送局昇格問題については先般來仙台或は中央に地元民の熱烈な要望を披れきし活潑な運動を展開して來たが突如六日午前十一時平着列車で遞信政務次官參議院議員鈴木直人氏が小笠原郵政局長、松原文書係長、近藤電波管理課技官、吉田放送係長ら四名を隨えて來平、更に仙台遞信局からも局長、電波部長、秘書課長、放送係長及び仙台中央放送局長河西三省氏らも來平する旨三日平放送所に連絡があつた、目的はもちろん平放送局昇格問題にあるが殊にその顔ぶれが遞信省の最高幹部級ばかりでありかつ技術面も同行している關係上昇格可否に對する最後的意向をまとめるためのものとみられ極めて注目されている

好機逸せず市も歡迎實現を要請

一行のスケジユールは大体△郵便局視察を始め昇格した場合市側提供になる放送局敷地の見分△現放送所内の視察から更に鈴木市長や常磐石炭局長、[illegible]復興事務所長の説明、及び[illegible]鈴木傳明氏や柴田永野兩市議ら地元有志等との間に具体的懇談を行うものとみられているが、市側でもこれが歡迎の意を表するため四日正午より市長室に前記有志のほか吉田平放送所長らを招き協議を行つた

今月の配給

米十八日分

正月用モチ米は一人一キロ

食糧公團平支所では十二月分主食配給の見通しに就き左の如く語つたが大体において變更はない模樣である

米十八日分、砂糖一日分、甘藷五日分、輸入粉三日分殘り三日分は麥その他の雜穀で充てる、なお正月用の糯米配給は二十日ごろから一人當り一キロ（七分つき）前渡しする

砂糖の配給は二日から開始しているが一人當り一日分で細粉（良質の方）である

正月は五日まで休業するので下旬ころから正月分の主食前渡を行い消費者の皆様には迷惑をかけないといつている

委員會へ

規約構成等

湯本青年協議會

青年の正しい情熱で湯本町から封建性をとりのぞこうとのスローガンをかゝげて今町有志青年らの手により着々準備をとゝのえてあつた湯本町青年協議會（假稱）第二回發起人會は三日午後七時より役場會議室に開催した、參加者は男女青年約五十名、先づ座長に常磐勞組菊地勳氏を推し議事をすすめたが結局從來から組織されている青年會と別個にこの協議會を新に組織する理由が不徹底のため出席した青年會所屬の一部青年間に當然たるものを與えず規約、組織構成等の審議を別に指名の小委員會にゆだねて午後九時半すぎ散會した、大會日程は十五日以降となる豫定

たかつき保育園に認可

たかつき保育園はかねて設置の認可申請を縣に申請中であつたが五月一日附で今回認可された

配給お知らせ

食肉配給券

市配給課では先月同樣今月も姙産婦病人用肉（牛、豚）の配給券取扱をすることとなつたが、今月は先月の約二倍、即ち牛肉は千百十枚、豚肉七百十四枚の割當を受けたので、該當者は姙産婦手帳や醫者の證明書持參の上毎週月曜金曜日に申出るよう希望している、配給額は一枚五十匁、値段は豚七十円、牛は六十円となつているが、なお今月は配給割當も增えたので姙産婦でも從前の如く月數に拘泥せず實情に應じて交附する由

工員募集
文選工員　二名
植字工員　一名
見習女工　二名
◎希望者は履歷書持參されたし
いわき民報社

丸公不起訴の波紋

市長と矢吹委員

責任問題に發展

市政新同志會委員長　鈴木傳明氏談

丸公市場事件は起訴か不起訴か各方面から注目されていたが不正事實なしとしてついに不起訴と決定した本事件は鈴木市長矢吹公安委員等が公安委員會にも諮らず、地元檢察廳を無視して福島檢察廳の今野佐内檢事に懇願して取調を行はしめたと云う問題だけにその波紋はきわめて大きく鈴木市長、矢吹公安委員の責任問題に波及せんとする形勢に立ち至りこんごの成行はきわめて重視されるに至つた、而して今野佐内檢事は福島事件にも關連がふかく數次に亘り取調を受けその結果辭表を提出するだらうと傳えられている右にかんし平市政新同志會委員長鈴木傳明氏は左のごとく語る

此の問題はわれ／＼革新會同志は先に矢吹公安委員の辭職を勸告したが不起訴と確定した以上その責任は鈴木市長にも必然的に起つて來る問題である、何故ならば本田警察署長が丸公に不正があれば私に搜査をさせて欲しいと申し出ているのに本田署長と丸公の間に疑惑があると稱しその搜査上の關係書類を取上げた越權問題が明瞭化して來たからである、同時に彼等は今野檢事に御馳走して取調べを行はしめ丸公を窮地に陷さんと企らんだのである、斯うした惡質な市政が公然許される筈は毛頭ない、次にこれ丈の大問題に對し山崎公安委員長、猪狩公安委員等は極めて消極的態度で居られるがその責任の一端は必然的に背負はねばならぬ問題と思う

關係者の責任重大

大谷武雄氏は語る

丸公事件は鈴木市長が煽動して起したと傳えられる問題である、その手先になつて矢吹公安委員が躍つたものでこの兩者の責任は極めて重大だ、この事件のために正義にして硬骨な本田署長や丸公の關係が飛んでもない疑をかけられてどれだけ迷惑をしたか判らない、道義を重んずるなら當然責任をとるべきである、更にこの問題は單り市長や矢吹公安委員のみでなく公安委員會と云う重要機關が連帶責任を負うべきは當然である、又これに關連して躍つた一連の人の責任もまぬがれまい、市政を明朗化せんとするならば公人はよろしく出所進退を明にすべきである

疑惑が解けてよかつた

本田署長談

丸公との間に不正ありと鈴木市長や矢吹公安委員から疑惑をかけられた市警察署内は疑惑が一掃された喜びに署内は明朗化して來たが右に關し本田署長は左の如く多くを語らなかつた

市警にかけられた疑惑もこれで解けたわけである、その他何も云うことはない

木工平市の

建設協議

現況實態も調査

市では重要木工業團地區として木工業の振興を圖るため六日午後一時より公會堂日本間に家具、建具、下駄等の各組合幹部を集めて協議會を開き輸送、金融、勞務、電力を始め木工業の業態について徹底的な實体調査を行い更に販賣關係や家具金物塗料製造加工業などについても調べ本市を木工によつて振興しようと秘策を錬ることになつた

ヤミ鮮魚ヤリ玉へ

けさ小名濱署が

小名濱署では四日未明四時を期して小名濱驛を急襲、ヤミ鮮魚の一齊取締りを行つた結果カツギ屋八名を檢擧にあげサンマ三十六貫、タコ九貫、スズキ一貫を押收、惡質違反の茨城縣多賀郡南中郷村無職加藤トメ（三七）ほか五名を送檢した

各區囑託員決る

任期定めず、紺屋町は未定

市では各區の事務囑託員を民生委員の協力で選衡を進めていたが紺屋町を除いて一應次の如く決定した、この囑託委員は擔當戸數に應じ最高二千円から四百八十円までの月俸を給し市吏員に準じて任期もなく本人の事情が許す限り勤續をさせながらはずで市役所内の庶務、教育、經濟、社會、土木、財務各課の事務は各區の責任者となつて市の調査、連絡員となる豫定で大いに期待されている

◇長橋町△高橋治◇古鍛冶町研町佐藤武人◇田町直柳井鼎門◇二丁目齋藤喜代市◇二丁目根本狩吉◇三丁目佐々木俊男四丁目籏坂鶴◇五丁目熊谷保國◇新川町五十嵐雄二◇材木町石山忠三◇殿治町沖州林造◇南町佐藤巖◇久保町二井誠一◇胡麻澤花溜久一郎◇北白銀小野金太郎◇仲間町佐藤伊太郎◇鍛冶町岸野英二郎◇立町佐藤次郎◇堀の内田久吉◇鎌田町勝田勝次郎◇大工町有賀銀治◇才槌小路松本弘◇磐城師上坂正賢▽八幡小路門馬繁一郎△月見町佐藤源吉△北目鈴木寅雄△大町大和田與平△上平窪齋藤木徳男△中平窪松本勇△下平窪山尻茂△中神谷矢吹平一△四波小野英平△堀の内阿部初彌△[illegible]吉田光夫△正月[illegible]町國分宏代巳

濁酒押收

内郷署では同町金海稚（三〇）が無職沼田仁三郎（七六）方

身柄は平署

留置場へ

大井川正巳副議長

三日午後二時須賀病院退院予定の大井川副議長はその後更に發熱の余り頭痛をうつたえたので一先づ身柄を湯本署構内元警部派出所内に移し全町醫師の看護をうけたため途に夕刻となり午後六時三十分身心の冷靜をまつて中地區警察署の乘用車で平警察留置場に收容された

問題はこれからのこと

警察湯本署長談

大井川氏の移送を終えて一しきりガタンとなつた署内で實家署長は「やつと一段終えた」と細い腿を一段と小さくしてもらし更にさすがに内心の喜びをかくしきれず

これからが大變だ、何はともあれ一應終つたが問題は今後だ、御本人も平に移されて氣も落ちついただろうしこちらも今度は充分に活動出來る、何分こゝは狹いので大きな聲も出せなかつたからねと語つた

いわき寸言

▽平放送局昇格問題鈴木政務次官の來平で活氣づく、正にこの機逸すべからず

▽一部の人間の問題でない、地方文化のための大きな問題一般市都民もモツト熱を持て

福祭つきピース

あすから賣出し

抽籤券つきピースの賣出しは五日からと決つた、券は一個につき一枚で專賣局平出張所と平煙草商協組が愛煙家への年末の贈物、一等は組につき一本のほか五等まであり抽籤は總体で五組毎で正月十日に行われる

▲一等三千円又はピース五百本（五本）▲二等千円又は光二百本（一五本）▲三等ライター附煙草ケース（一五〇本）▽四等シャープペンシル（二五〇本）▽五等十円（八〇〇〇本）

警察非常電話設置さる

謹告

去る十一月三十日當署に非常電話が設置され警察に關する應急事件の連絡は他の一般通信に優先して取扱はれるやうになりましたので『警察』を御利用の上協力を御願します

尙其の他一般的用件は『平市八〇八番七四番』で連絡の程併せて願します

昭和二十三年十二月一日

平市警察署長　本田正治

七日より愈々
待望の名篇登場

母

子ゆえに强し！娘ゆえに哀し！
この母の愛！

主演
三益愛子
三條美紀
若原雅夫
伊澤一郎
菅井一郎

[illegible]極りない運命に弄ばれながら男を殺してまでも母性愛を貫こうとした女

世界館　電58番

◆◆◆ミシン景品付宣傳◆◆◆

聯合大賣出し
【イロハ順】

平市二丁目八　石川ミシン商會
同二丁目三五（電二〇八）　磐城ミシン工業所
同三丁目平和通（電九二八）　若松ミシン商會
小名濱町　渡邊ミシン商會
平市[illegible]小路踏切側　平ミシン商會
同大町一五　大森ミシン商會
同南町二九（電九六〇）　草野ミシン商會
同田町大通　大和屋ミシン商會
同田町大通　山岸ミシン商會
內郷町宮金坂通　小松ミシン商會
內郷町綴町ノ內　小山ミシン商會
植田町本町鮫川橋際　北光MS研究所
平市三丁目平和通（電八六四）　三浦ミシン商會
同白銀町一一　鈴木ミシン商會

各業者自慢ノ各種製品
大販賣開始！

十二月十日ヨリ年末マデ
左記各種店舗ヨリ此機會ニ
是非ミシンヲお求メ下サイ

石城平地區ミシン商組合

常磐炭田略史 ③

菊池康雄

四、第三期

一、大正前期

大正初期の常磐炭田は、明治後半期の趨勢を、近代的組織に經營が行われたが、明治中期以降の蒸氣力が、漸次電氣動力に移り電力時代の發展を見る様になる。

明治末期から斜坑より竪坑に移ったが、竪坑は大資本を容する大炭礦にのみ行われ、中小炭礦は斜坑採炭が主であった。

大正三年（一九一四年）第一次世界大戰勃發するや需要は增加し新坑開設、資本の增資等が行われ、黄金時代が創出した。以下その發展の跡を記すこととしよう。

三年（一九一四年）磐城炭礦[illegible]へ移轉す。四年（一九一五年）磐城炭礦株式會社は、三星炭礦株式會社の鑛區を買收し、現在の磐坑を經營した。

古河好間炭礦は株式會社好間村の鑛區を買收し事業を擴張改良し、發展が大いにあがった。古河系の進出は目ざましいものであった。

入山採炭株式會社は、第五坑を開坑した。

五年（一九一六年）大日本炭礦株式會社（資本金五〇〇萬円）創立。

山下龜三郎は、磐城炭礦株式會社を創立し、赤井村に[illegible]炭礦を開坑した。

六年（一九一七年）磐城炭礦株式會社は、三月に內郷炭礦は西第一坑開坑、八月には[illegible]內炭礦第三坑、九月には綴坑の東斜坑それぞれ開坑した。

入山採炭株式會社は、川崎系であったが、藤川系となり、後に大倉系となった。

大日本炭礦株式會社は、茨城炭礦會社を合併して傘下に收め、三星炭礦株式會社より鑛區を買收し勿來礦を經營した。

七年（一九一八年）磐城炭礦株式會社は、製作所を建設し、自家所用の機械類を製作し、又自家用電力供給の爲平石に出力常時一六、〇〇〇キロワットの火力發電所を設備した。

[illegible]炭礦株式會社の經營せし川部村鑛區を大日本炭礦株式會社が買收し、勿來礦區を合併した。

日本炭礦株式會社新創立し、白鳥炭礦（內郷村）を經營した。

入山採炭株式會社は、資本金を六〇〇萬円に增資した。

八年（一九一九年）四月、古田炭礦株式會社創立、（資本金三〇萬円）好間村に開坑した。資本配給問題起り解決策として、常磐炭礦主會組織された。

二、大正後期

第一次大戰後は一般經濟界の不況に伴い、炭礦界も不振であった。戰爭中は各炭礦共相當好成績を示したが、鐵道輸送力の不足により發展が阻まれた。輸送力の充實した頃は戰後であった爲、輸出に惠まれたのは、一二、三年に過ぎない。不況の爲需要が減じ、業者は炭價の暴落によって、採炭機械を採用して、技術的改良を行い、運搬設備を改善し[illegible]に從事したが、大炭礦は女子及び幼年者の坑內作業禁止が痛手であった。

十三年には入山炭礦六坑のガス爆發、又磐原炭礦のガス爆發などの大災害があった。事業が大規模になるに從って大災害の多くなった事は遺憾である。各炭礦とも防災に努力し「安全第一」を標語として[illegible]した。

特記すべきは、一一年健康保健法を初め、種々な勞働立法が行われ、勞働關係の問題がやかましくなるに及んで入山炭礦の「立憲勞働自治會」、古河好間炭礦の「好友會」が創立せられた。

以下發達を年譜別に記して見る。

九年（一九二〇年）五月、磐國炭礦株式會社創立し梅山坑（草川村）を經營す。

磐城炭礦株式會社創立、晩成炭礦（川部村）を開鑛す

井上[illegible]中は、日本採炭株式會社所有鑛區を買收し、大倉炭礦（赤井村）を經營す

一〇年（一九二一年）二月、磐城炭礦の住吉一坑を開坑

常磐石炭鑛業會設立し、石炭鑛業聯合會に加盟、同會は送炭制限その他の事業を行った。

一二年（一九二三年）安原大造は茨城炭礦株式會社の鑛區を先契約し、大島炭礦（內郷町）を經營す

五十嵐榮次郎は、不動澤炭礦株式會社の鑛區を買收し五十嵐炭礦を經營す。

[illegible]坑を開坑す。

一三年（一九二四年）二月、小野田炭礦（磐崎村）の第二坑開坑す。

八月、入山採炭株式會社の第六坑（湯本町）の西卸方面にて、ガス爆發あり死傷二八名、殉職七二名即死。[illegible]より創設備金下賜せらる

一一月、磐原炭礦（磐崎村）左六坑道にてガス爆發、死傷一六名、殉職八名を出す

一四年（一九二五年）五月、茨城無煙炭礦株式會社は、內郷炭礦を買收し第四坑と稱して經營す。

十月、常磐線の複線工事完成す。

十月、古河好間炭礦[illegible]の斜坑[illegible]を廢し、[illegible]十五日[illegible]役す。

一五年（一九二六年）九月、茨城無煙炭礦株式會社は、大倉鑛業株式會社の經營に移す。

一〇月、古河好間炭礦の「好間合同會」創立さる。

一一月、入山採炭株式會社の「入山炭礦共濟會」創立さる。

[illegible]炭礦株式會社が[illegible]の[illegible]

附記

筆者は公私共に多忙の爲一應大正時代にて筆を留め、他日昭和時代を記述したいと思う。何分の御寛恕を乞う次第である。

御よりよき常磐炭田史の完成は筆者の念願する處、御示敎、御叱正を御願いする。

平市五丁目
釜屋商店
電九・九九

車內警備に機動性

平驛歳末防犯對策

いよく師走の聲を迫って各種犯罪と共に列車內犯罪も一段と增加するものとみられ平驛でも現在六名の鐵道公安員が連日連夜犯罪防止に懸命となっているが殊に正月を控えての列車內混雜をねらうスリ、物盜又は集團強盜等の發生も豫想されるので去る一日より一ヶ月間を「公安強化月間」と銘打ち強力な防止對策を講ずることとなり二日午後一時より平驛構內公安官派出所內に各公安員の連絡協議會を開催した結果

從來事件發生の際行われた「口傳」による連絡法では迅速な連絡は出來ないからとて今後は車內警備者に青赤の豆ランプを備付け万一事件が發生した場合直ちに公安員と連絡出來るようにしたい

と言う列車內警備の機動性を強調したほか、更に

一般乘客が被害金額が少い時は面倒だからとて連絡もせず或は犯罪發生の際にも極めて消極的であるからとてより一層の一般の協力を得る樣努める

等を申合せた、なお平驛でも現在行われている「明るい鐵道にする運動」にかゝわるものとして全職員を擧げて車內犯罪防止に當ることとなったほかこの月間中は六名の公安員に更に一名を增加小荷物の鈸取り等の警備を一層強化することともなっている

青少年赤十字團は斯くあるべきもの

きのうギンバー女史講演要旨

【平發】平第三小學校に四日開かれた青少年赤十字團結成懇談會における軍政府敎育情報部ギンバー女史は青少年赤十字團は自主的に結成せらるべきものでこの組織は新敎育の指標ともなり善良な市民の育成に拍車をかけるものであると左の如き大要の講演を行った

社會への奉仕とゆうことは從來の敎育にはとりあげられなかった、而し今後の新敎育は社會貢獻とゆうのが目標となっており今度の赤十字團結成によりその目標は一致するわけです、そして新しい敎育は赤十字團の活動により大部分達せられるものです、組織を結ぶに當り將に考えねばならないのは、學校の子供たちの自由な意志により組織單位につくられ運營は當然兒童たち自身により行はれ、敎師はその際保導者として善導する低度にとどまらねばならない、從來の敎育は觀念的で善いことを習い實行しなかった、今後は經すことによって學び、習慣となるまで進まなければいけません、そして善良な市民を育成することが大切です、本による學問は人間を人形化させ實際的でない新しい計畫をたてさせて實行に移す場合が行って善くなることには心配がいらない、自分をよくするためには社會を良くせねばならない、こゝにデモクラシーの基本がある

平石炭局年內竣工か

夜業で既に九分通り完成

平石炭局新廳舍は年末まで完成させようと請負側の西島組では夜業まで行っているため既に九分通り進捗、早くも樹內のお化粧まで行っているので年末迄には豫定通り完成の見込み工費は六百九十九万円で配炭公團常磐支團の東側敷地四百坪に總二階建ペンキ塗り近代的なもの

十一月中の列車獲物

平市署から發表

平市署では十一月中の列車檢索、小荷物車臨檢その他道路檢問などによる主食類の違反物資總收容數を三日次の如く發表した

◇米一、一五七キロ◇麥二六キロ◇雜穀一九三六キロ◇粉類二五六キロ◇麵類九キロ◇かんめんその他七貫◇鮮魚二五貫◇葉タバコ七キロ

罰金一束

△田人村黒田自動車運轉手小宅良（二二）は乘車過剰三百円

△內郷町高坂旅館正德さん（二九）はヤミ米七升を横流し二千五百円

△市內仲町人形商林良明（二八）はヤミ米五升を所持二千五百円

△小名濱町ヽ町行商人松原茂三郎（三三）は臨時物價要綱統制法違反で二千円、イカ三百貫外小ダコ六貫外、カナガシラ四貫外を滿載したもの

△小名濱町築町日佛技術好夫（三七）も同法違反で五千円、カレイ七貫外、イカ三貫外を横流したもの

△錦町中田鐵工所國部明（四五）は五百円同町及物行商人日高勇政（三八）は三百円同町吳化化學鍛工場工作係役多部芳雄（四六）は五百円、同町赤井組人夫佐田邑政雄（二八）は三百円同所鋳職井原米藏（四七）は六百円、いづれも臨價違反で

△勿來町探燕夫大内二二三（二三）同吉田榮一（三〇）支社大成田美雄（二一）同横塚三次郎（三九）は賭博罪で三百円ずつに

新農調委當選者（四）

【飯野村】

稲崎義昌、草野豊治、國分巳足、關根勝助、永山佐藤中、小泉得衛、江尻助元、山崎悌一、小野利明、久田元忠、永山登、阿部總、松崎好雄、鈴木良則、北郷善盛

【豐間町】

四家富雄、志賀富右衛門、渡邊敏壽、鈴木保之丞、鈴木勝彌、鈴木寅、西部芳吉、鈴木道之助、高橋田次郎、四家隆義、大友金勝、橋本久治、渡邊虎吉、鈴木郷雄、馬目大郎

【高久村】

矢吹丑吉、矢吹清一、鈴木平司、小野一郎、鈴木文雄、稲崎半吾、田仲探楠、山部條雄、鈴木勝雄、鈴木保、栗谷吉計、大谷則藏、西口良某、志賀勝見、久野長治右衛門

【永戸村】

合田林、平山榮、高野敬凱、菅田良夫、谷津鈴雄、草野源作、栗谷昌平、栗谷勝一、渡邊金次郎、大和田治男、栗谷清喜、渡邊延元、鈴木忠毅、鈴木啓八郎、根本賢作

常習女空巣

豐間町狩之尻平林組廢職大河原カツ（四〇）は去る十月中旬同町漁夫鈴木藤松さん（四〇）方留守宅から布團皮一枚給一級五千五百円相當を窃取したほか同町を中心に常習的に空巣を働き前後四回に亘って衣類ゴム靴など計一万二千円相當を盗んでいたこと發覺、三日平地區署へ送局

火災消火に絶對の威力

手擲彈消火器の實驗

時　十二月六日午後一時
所　平市 平病院前廣場

一般の御參觀をこう

主催　笠井商會
後援　縣消防協會
　　　いわき民報社

キモノ　洋服
買入

氣輕に御相談ください
きっと御滿足の上値で……

福屋

平驛前シロガネ大通り
（驛より左へ五軒目）

タンスと鏡台下駄
嫁入道具一式は
植田町の 丹野商店へ！
福島縣石城郡植田町本町三二
電話植田二〇一番（[illegible]）二五七番

東京平間定期
貨物輸送開始

產業ノ復興ハ交通運輸ノ完全ヲ期スルヲ第一トナス
今回當局ニ於テ東京ト平ヲ直結シタル貨物自動車定期輸送
ヲ開始スル事ト致シマシタ
吾社ノ信條ハ[illegible]「迅速」「確實」ヲ[illegible]
[illegible]」トシテ從業員一同最大ノ努力ヲ致ス決
心デアリマスノデ何卒御用命ノ程御願ヒ致
シマス

昭和二十三年十一月二十九日

磐城貨物自動車株式會社
電話五二一番・六五三番
同　平營業所
電話一八七番

東京出張所
千代田區神田佐久間町二ノ一六
丸神運送店
中央區日本橋大傳馬町一ノ四
電話茅場町(66)二三八番・七一六番
中央運輸株式會社內
電話茅場町(66)五七九

店舖改造
工事落成

縣下に唯一の地元銀行

日本銀行平代理店
福島縣平支金庫

株式會社 東邦銀行
平支店

平市三丁目
電話108・308

食糧配給公團平支所

パン配給店開設

クーポン制に依るパンの配給店を左記の通り開設致しましたから御利用願上ます
十二月六日より配給致します（順不同）

平市紺屋町　須藤吉弘
同金澤屋　永野晃
三丁目　梅原利三郎
吉田屋
新川町　吉田定太郎
五丁目　渡部ツネ
仲田町　佐藤正次郎
小松屋
杉平　須賀井長吉
胡摩沢　永谷學藏
南町　坂本ナツ
久保町　古田部春吉
內郷町御厩　永山實